

APNIC36の紹介

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

IP事業部 奥谷泉



社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2013 Japan Network Information Center

APNIC36全体



社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2013 Japan Network Information Center

開催概要

- 日時: 2013年8月20日～30日
- 開催地: 中国・西安
- ローカルホスト: CNNIC
- 参加者: 事前登録者 268名(JPからは16名)
- プログラム構成
 - 各種チュートリアル・ワークショップ
 - 各種BoF
 - SIG (Policy SIG、NIR SIG)
 - APOPS (Asia Pacific Network OperatorS Forum)
 - APNIC総会
 - 懇親会 (Opening Reception、APNIC Social、APNIC Dinner)



今回の特徴

□ 20周年イベント開催



□ 選挙

- NRO NC: 藤崎智宏氏再選
- Policy SIG: Andy Linton氏再選
- NIR SIG: Chair=橘俊男氏、Co-Chair= Jessica Shen, Ajay Kumar

□ 印象

- IPv6とPRKI関連のセッションが充実
- 今回もNOGアップデートあり: JANOGからも発表
- ITUもグローバルレポートで発表

移転・資源管理関連

- IPv4アドレス移転のノウハウをIPv4Marketingから紹介
- 4バイトAS: APNIC地域の60%は4バイト → JPはほとんどが2バイト: 何かやる余地あるか?
- APNICにおけるWHOISアップグレード
 - Geolocation、言語、過去の履歴
 - WHOWASは今後検討していきたいとの姿勢
- アドレスリース
 - 実際ケースがある 次回もポリシー対応を継続議論
- 法執行機関からのAPNICへの要請に関する発表

参考：移転の状況 by IPv4 Marketing

□ 料金の傾向

- ARIN地域 10%程度 < APNIC地域内 < RIPE地域 10%程度
- ブラックリストされているIP < きれいなIP
- 一度に大きなアドレスを移転 < 小さな単位で移転

□ 申請時のポイント

- ハイジャックされていないか、ブラックリストされていないか：
電子メールの状況はsenderbase.org で確認可能
- Asset Purchase Agreement
- 支払い方法としてEscrowはヨーロッパ、北米では一般的

現状：

申請数は全体として少ないが最近少し増えてきている
MSのときによりも、少し値段は下がっている

IPv6 関連：運用・サービス

- Cost of IPv6 & CGN
- China Mobileの取り組み紹介
- Routing IPv6 in the Homenet – サービス単位でプレフィクスを割り当てる発想

<http://conference.apnic.net/36/program#/session/61711>

<http://conference.apnic.net/36/program#/session/61719>

IPv6関連：計測

□ Launch 365 - IPv6の歴史振り返る

- 国別の状況：JPはトップ10、事業者毎の対応も確認可能
: <http://conference.apnic.net/36/program#/session/61659>

□ Akamaiから見たIPv6利用の統計

- 国別、プロバイダ別、PCとモバイル：
<http://conference.apnic.net/36/program#/session/61663>

□ IPv6 Measurement BoF

- APNIC地域全体、経済圏単位での計測情報を交換
- 今後メーリングリストと専用のウェブサイトを立ち上げる
- <http://conference.apnic.net/36/program#/session/61707>

IPv6関連：NIRの活動

□ CNNIC

- 最近/21の割り振りを受けている
- 事業者のDNSのIPv6対応に注力、6Pilot

□ KISA

- IPv6 security vulnerability research
- Guidelines for the Secure Deployment of IPv6(NIST)
- <http://cve.mitre.org/cgibin/cvekey.cgi?keyword=ipv6#top>
- 情報募集中、必要であれば共同研究も視野

□ TWNIC IPv6 Virtual Lab

- <http://ipv6launch.tw/ipv6lab/intro.html>

その他

□ LT: 面白そうなネタいっぱい

- Facebook and the GFW
- <http://conference.apnic.net/36/program#session/61768>

□ インターネットガバナンス

- このテーマに特化したセッションを開催
- ISOCでインターネットガバナンスに関するサーベイを実施

□ RIPE Atlas 大々的に宣伝

- JPでも興味がある方がいれば無料でProbeを受け取ることができる

セッションでの発表・議論

□ ビデオ、発表資料、発言録(トランスクリプト)を参照可能です

□ 興味があるセッションがあればご覧ください

➤ <http://conference.apnic.net/36/program#broadcast>

Q&A



APNIC36でのアドレスポリシー提案



社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2013 Japan Network Information Center

アドレスポリシーSIGでの提案

提案: 3点

トピック	提案	結果
プロセス	prop-108 : APNICにおけるポリシー策定プロセスの変更	一部改訂のうえ コンセンサス
AS	prop-107: AS番号の移転	コンセンサス
IPv4	prop-105: 返却されたIPv4アドレスの分配 (prop-088の改訂版)	コンセンサス

JP IPv4アドレス割り振り
検討チームからの提案

ディスカッション

トピック	ディスカッション
IPv4	IPv4アドレスのリースに関する議論目的の発表

<http://conference.apnic.net/36/policy>

prop-108 : APNICにおけるポリシー 策定プロセスの変更

概要:

- メーリングリストでのコンセンサスの最終確認期間: 最低8週間→4週間に短縮（チェアの判断で延長可能）

JPOPFへの直接の影響はない

prop-107: AS番号の移転提案

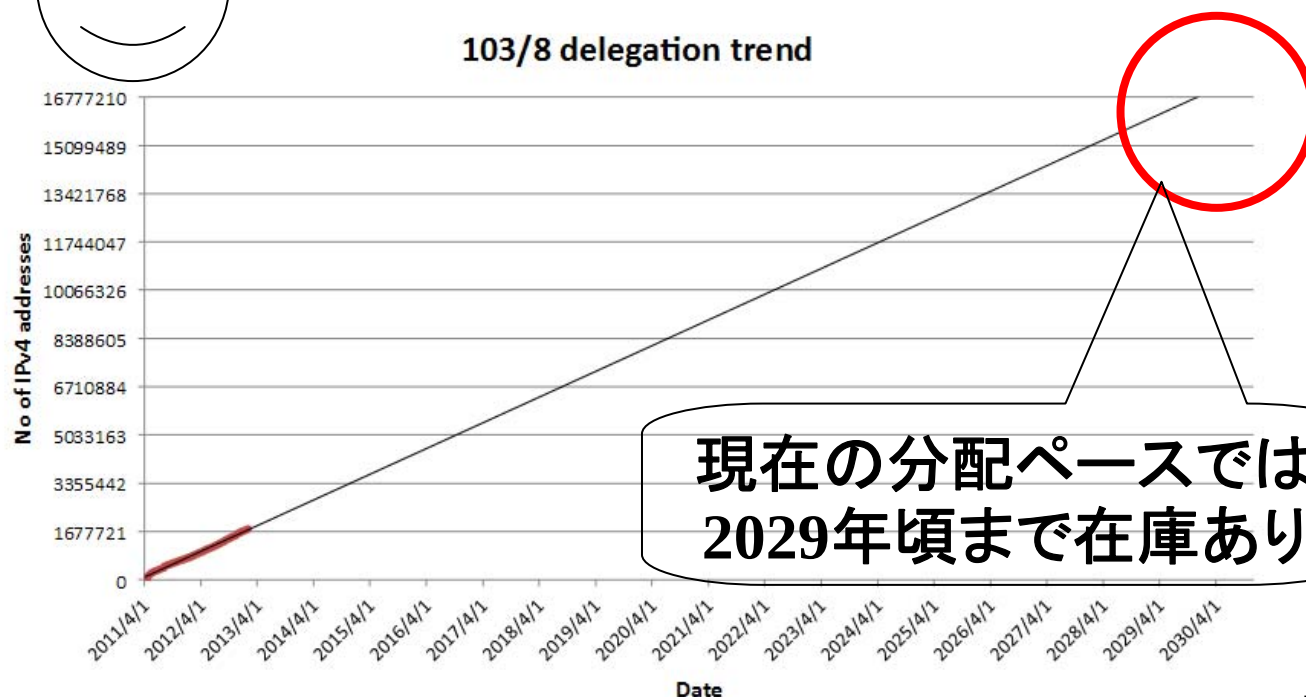
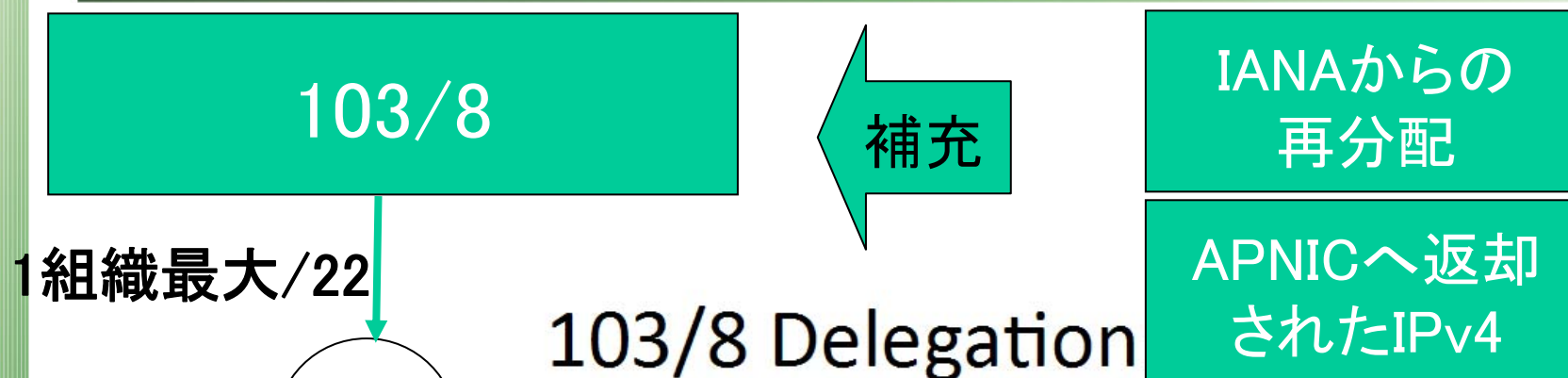
概要

- IPv4アドレスと同様、AS番号の移転も認める
- 移転相手のRIRが同様のポリシーしている前提で、RIR地域間のAS番号の移転も認める

- 他RIRではARINがAS番号の移転ポリシーを施行
- 但し、ARIN地域内に閉じたAS番号の移転ポリシー
(他RIRとのAS移転ポリシーは現在施行していない)

JPNIC管理下のAS番号の移転も認める
べきか本日prop-25-01として議論

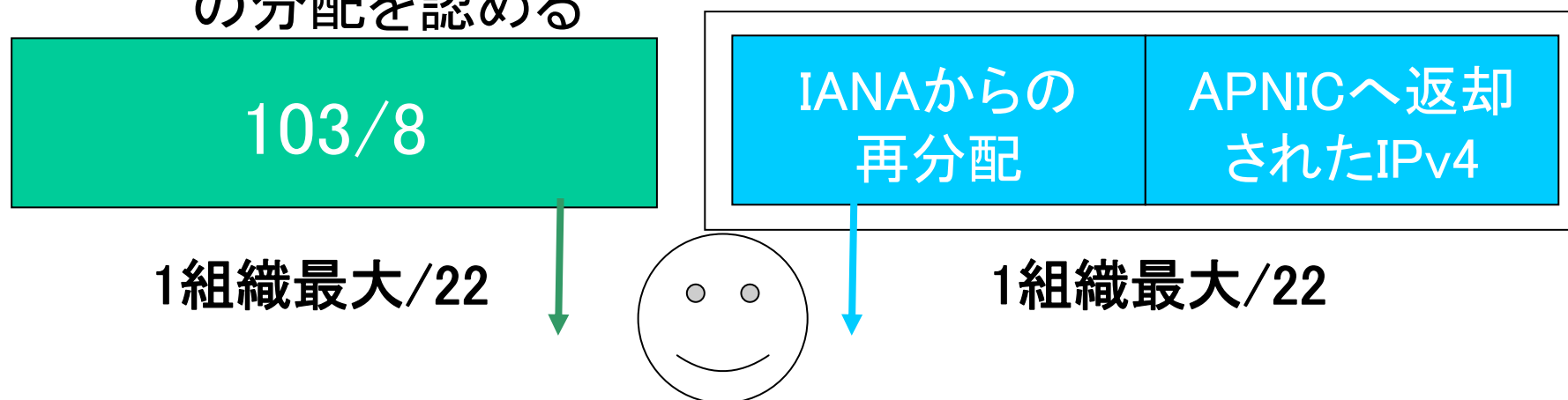
prop-105の背景: 103/8在庫の分配状況



prop-105: 返却されたIPv4アドレスの分配

概要

- 103/8在庫と返却在庫を分け、それぞれの在庫からの分配を認める



- 103/8ブロックからの分配を受けており、IPv4アドレスを必要とする事業者には、返却アドレス最大で/22の分配を認める
- 分配基準は最後の/8ポリシーと同じとする
- 103/8からの分配ポリシーは現状通り変更しない

ディスカッション:IPv4アドレスのリースについて

□ 背景

- IPv4アドレスをリースするサービスを提供するブローカーが存在することが確認されている
- APNICポリシーで対応が必要であるのか、コミュニティと議論をするため、APNIC事務局より発表

□ APNIC36での議論

- 現在のポリシーの枠組みの中で対応可能か
- リース専用のポリシー策定をするべきか
- RIPE地域では「期間限定の移転」ポリシーを施行している

□ 今後

- APNIC37でも継続議論、ポリシー提案が行われる可能性あり

まとめ

AS番号の移転と返却アドレスの分配については、
JPNICポリシーでの対応を本日議論: prop, prop

IPv4アドレスリースに関するアドレスポリシーでの対応
は次回APNIC37で議論される見込み: ご意見があれば
お聞かせください

Q&A

